

令和4年度 第4回生駒市地域公共交通活性化協議会
議事概要

日 時 令和5年3月3日(金) 午前10時～午前11時

場 所 生駒市役所 4階 大会議室

出席者

(委員) 小紫会長、土井副会長(議長)、森岡副会長、大西秀樹委員、原委員(代理:石川様)、井上委員、池田委員(代理:岩藤様)、岡部委員(代理:前川様)、川本委員(代理:小谷様)、沢井委員(代理:関様)、今西委員(代理:橋様)、網蔵委員(代理:熊木様)、大西利夫委員、伊藤委員、坂本委員、矢田委員、鐵東委員、新井委員

(事務局) 生駒市(山本副市長、米田建設部長、谷事業計画課長、清水事業計画課課長補佐、福呂事業計画課交通対策係員)、流通科学大学(岸野アドバイザー)、一般社団法人システム科学研究所(加藤)

欠席者 3名

傍聴者 9名

議 事

1 報告案件

- (1) 各路線におけるコミュニティバスの利用状況について
- (2) コミュニティバス鹿ノ台線の利用実績について

2 審議案件

- (1) 鹿ノ台線の運行見直し案等について
- (2) 令和5年度生駒市地域公共交通活性化協議会予算(案)について
- (3) 萩の台線の運行見直しに向けた検討について
- (4) 市内バスネットワーク維持に向けた協議申し入れについて

3 その他

- (1) 今後の会議予定等

【配布資料】

[次第]

[前回協議会の議事概要]

[資料1] 各路線におけるコミュニティバスの利用実績

[資料2] コミュニティバス鹿ノ台線の利用実績

[資料3] 鹿ノ台線の運行見直し案等について

[資料3 参考資料] 生駒市コミュニティバス『たけまる号』鹿ノ台線利用者アンケート調査

[資料4] 令和5年度生駒市地域公共交通活性化協議会予算(案)

[資料5] 萩の台線の運行見直しに向けた検討

[資料5 参考資料] 生駒市コミュニティバス導入地区募集要領(案)

[資料6] 市内バスネットワーク維持に向けた協議申し入れについて

[資料6 別紙1] 市民説明会(1/21)における主な質問に対する回答

[資料6 別紙2] 三者協議概要

- 会長から、奈良交通の路線バス再編、コミュニティバスの今後の在り方は、市民にとって大きな話題となっている。行政だけでなく事業者や市民のご協力により当面の方向性が出てきているが、国や県の動きと連動しながら中期的・持続可能な形で展開し、生駒市の移動支援の在り方、それに伴う健康と生きがいがづくり、観光や経済の活性化に繋がるようにしっかり取り組んでいきたい。との挨拶があった。
- 議長から、新型コロナにより移動の在り方が変わる中で、公共交通の役割はむしろ大きくなってきた。これまでは事業者が中心となって公共交通を維持してきたが、自治体为中心となり維持することが法律の中で明確化されており、本協議会はその点を議論する会議となる。との挨拶があった。
- 事務局から、委員交代により新たな委員となった南地区自治連合会会長代行の坂本委員を紹介した。

主な議事内容

1 報告案件

- (1)各路線におけるコミュニティバスの利用状況について
- (2)コミュニティバス鹿ノ台線の利用実績について

報告案件については、資料1、資料2に基づいて事務局からまとめて説明した。

- 委員から、資料2 P2のバス停別乗車人数をみると、各停留所でほぼ利用があるため、既存の停留所よりも身近な停留所を利用することで外出機会が増えていると見受けられるため、資料3の実証運行期間の延長は良いことと考えている。との発言があった。
- 議長から、今後何をしたらよいかをデータから捉えるために、ユニークユーザが分かるのであれば、普段利用する人とたまに利用する人を分けて整理してはどうか。との発言があった。
- その他委員から特に意見はなかったことから議長が報告案件(1)、報告案件(2)について承認を求めた結果、全委員が承認した。

2 審議案件

- (1)鹿ノ台線の運行見直し案等について

- 資料3、参考資料に基づいて事務局から説明した。
- 議長から、参考資料の利用者アンケート調査結果をみると、利用頻度が毎回や週1回程度の方が多いことが分かる。今後も利用者アンケート調査を実施する際、鹿ノ台線運行による地域への効果として、鹿ノ台線の利用による外出回数の変化に関する項目も追加していただきたい。また、調査票を見せていただければアドバイスも可能である。との発言があった。
- 事務局(アドバイザー)から、実証実験の評価時にコミュニティバスの他路線がコロナ禍以前の水準まで回復していない場合、鹿ノ台線も新型コロナの影響を受けていると考えられるため、新型コロナの影響を加味した上で評価していただきたい。また、鹿ノ台線はコミュニティバスの他路線と比べて運行費用が高いため、市全体のバランスも考えて、費用

構造の違いを加味して評価した方がよいのではないか。との発言があった。

○その他委員から特に意見はなかったことから議長が審議案件(1)について承認を求めた結果、全委員が承認した。

(2) 令和5年度生駒市地域公共交通活性化協議会予算(案)について

○資料4に基づいて事務局から説明した。

○委員から特に意見はなかったことから議長が審議案件(2)について承認を求めた結果、全委員が承認した。

(3) 萩の台線の運行見直しに向けた検討について

○資料5、参考資料に基づいて事務局から説明した。

○委員から、参考資料の募集要領案で審査委員会を設置することになっているが、本協議会と別組織になるのか、協議会委員がどのように関わるのか、判定基準について明確にしていきたい。との発言に対して、事務局から、現時点では未定であるため、早急に調整して決定していきたい。との発言があり、会長から、審査や選定の方法については協議会の中で説明する必要があると考えているため、改めて協議会で説明する。との発言があった。

○その他委員から特に意見はなかったことから議長が審議案件(3)について承認を求めた結果、全委員が承認した。

(4) 市内バスネットワーク維持に向けた協議申し入れについて

○資料6、別紙1、別紙2に基づいて事務局から説明した。

○委員から、分科会は三者協議とは別で設けるのか。との発言があり、副会長から、分科会の位置づけを明確にする必要がある。との発言があった。それらに対して、事務局から、三者協議は、各路線の沿線住民に自分達が路線を守るという意識を持っていただき、住民と奈良交通と生駒市の三者で協議する場である。分科会は協議会よりもコンパクトに議論をするために、協議会委員の中からコアメンバーが集まり、三者協議で得られた利用促進策について議論した上で、協議会で諮ることを考えている。との発言があり、会長から、より地域性のある内容は三者協議や分科会で協議する方がよいが、最終的には協議会で論議を十分おこない、報告のみにならないようにしたい。との発言があった。

○副会長から、路線ごとに協議内容が異なるため一括して協議することができないことを、協議会参加者の中で確認しておく必要がある。との発言があった。

○委員から、1月21日の市民説明会の質疑応答において、最初から挙手していたにも関わらず、時間の都合で指名されない参加者がいた。質疑できる場はなかなか無いため、もう少し意見を聞いていただきたかった。との発言があり、委員から、最初から挙手しているのに指名されないと言った見方をされる場合があり、司会進行の補佐役がきちんと対応する必要がある。との発言があった。それらに対して、会長から、生駒市は市民説明会を大切に考えて開催しているため、当日ご回答できなかった意見に対してもHP上に詳細な回答を掲載しており、更に意見がある場合は各地区単位での個別説明会を開催したり、三

者協議の際に意見を伺ったりすることで対応を考えている。説明会では挙手する人が多く、時間の都合もあるため、最初から挙手している人全員を指名することが運営上難しく、指名の有無に意図はないことを理解いただきたい。貴重なご意見なので参考とさせていただきます。との発言があった。

○委員から、分科会をいつからいつまで設置するのか。との発言に対して、事務局から、富雄庄田線の令和7年10月以降の運行に関する協議の目途である令和6年12月までは少なくとも設置することになると考えている。との発言があり、会長から、分科会の設置時期は未定であるが、三者協議の実施状況を確認しながら速やかに検討して設置する。との発言があった。

○議長から、生駒市と同様に減便や廃線の問題を扱っている他の協議会と比べて、生駒市は丁寧に地域の声を拾い集めて、地域と一緒に検討している。限られた時間や範囲の中で進めるためには区切りをつけることも必要であり、その区切りをつける際に丁寧に地域と対話している点は素晴らしいことである。との発言があった。

○その他委員から特に意見はなかったことから議長が審議案件(4)について承認を求めた結果、全委員が承認した。

3 その他

(1) 今後の会議予定等

○事務局から、本日が今年度最後の協議会である。来年度の初回協議会は6月後半を目途に開催を予定している。日程等は決まり次第、事務局からご連絡する。との説明を行った。

○事務局から、市民公募委員は今年度で2年の任期満了であるが、来年度も市内バスネットワーク維持等の協議をおこなう大事な時期であることを鑑みて、再任を依頼した結果、ご了承を頂いた。との説明を行った。

○委員から、今年度の協議会開催日に路線バスに乗って市役所まで来ていたが、初回は車内に1名のみ、2回目は4名、3回目は6名で、本日は満席であった。路線バス再編案の提示による影響であるかは不明だが、良い影響である。との発言に対して、議長から、このような話を地域の方にも伝えていただきたい。との発言があった。

以上